

リハビリふくや高津館 (川崎市高津区)



リハビリ支援



サービス付き高齢者向け住宅最新事情 特色づくりも活発化

New Wave 住まいのカタチ

話題の住宅を紹介します!

2011年から制度化された「サービス付き高齢者向け住宅(略称・サ付き住宅)」。高齢者が安心して暮らし続けることができる賃貸住宅の一形態として、バリアフリーであることや状況把握サービス等を行うことが法律で義務付けられ、約3年を経て、県内では2014年6月30日現在、188棟7193戸へと登録数を伸ばし、高齢者向け住宅の選択肢は着実に広がりつつあるようです。他にはないユニークな特色を持つ物件もいろいろとお目見えしていることを踏まえ、多様化するサ付き住宅の最新事情をレポートしました。



地域交流



女性専用

ユーマーリビング湘南台 (藤沢市)



アンコール葉山 (葉山町)

インデックス

1-5面: New Wave [住まいのカタチ]

特集/サービス付き高齢者向け住宅最新事情
特色づくりも活発化

- ユニーク物件をレポート …2-4面
- 県内のサ付き住宅の現状と傾向…5面

6-7面: Topics /

木材利用ポイントのPRを精力的に展開

8面: 住宅地探訪 あの街は今… (視察ルポ)

物件レポート
2～4面

個性派住宅が次々出現

最先端の機器を用いて 「在宅復帰」をバックアップ

必須となる状況把握・生活相談サービスに加え、食事提供や重度の介護にも対応できる物件が増えるにつれて、サ付き住宅を「終の住処」ととらえて移り住む人も多くなってきました。これに対し、入居者の「在宅復帰」に向けたリハビリ支援を柱に据えて、川崎市高津区にこの春オープンしたのが「リハビリふくや高津館」です。

目玉は、最先端を行くCYBERDYNE社の自立動作支援「ロボットスーツ HAL (R) 福祉用」の導入。このスーツは、下肢に装着して歩行や立ち座りのトレーニングを補助する電動機器ですが、装着者の動こうとする意思を感知して、自然なアシストを実現できる制御システムが画期的と言われています。

共用のトレーニングルームにはさらに、等身大の液晶ディスプレイに自分の動作を映し出したり、いろいろな測定値を「見える化」してトレーニングへのモチベーションを高めることができるパナソニック製の「デジタルミラー」、起立運動を楽しく続けるためのTVゲームシステムなども備わっています。これらの最新機器を用い、居住者はリハビリメニュー、および進捗状況などを管理するタブレット端末の貸与を受け、自宅への回帰や家族との同居を目指して自主トレ生活を送ります。

運営母体は神奈川を中心に有料老人ホームやグループホームを展開する日本アメニティライフ協会（横浜市青葉区）で、このようにリハビリ支援に特化したサ付き住宅

サービス付き高齢者向け住宅の必須要件

下記の条件を満たしていることが求められます。

高齢者にふさわしいハードが整っている

- バリアフリー構造
- 一定の面積、設備

安心できる見守りサービスを提供できる

- 状況把握サービス
- 生活相談サービス

&

明確な契約・料金体系

事業者が受け取れる金銭は、家賃・共益費、敷金、サービスの対価のみ

は、国内で初めての試みといえます。

「病院などから退院するにあたり、すぐに普通の生活に戻れるか不安を抱えたり、十分な体力回復を図りたいと願う人たちが少なくないことから、テストケースとして実践に踏み切りました」とは、館長の上柳富久美さん。「日々過ごす部屋はベッドルームではなく、キッチン・バス・トイレが一式備わった住居なので、復帰したときの在宅生活がイメージしやすく、問題点を洗い出すという面でもサ付き住宅を用いるメリットがあると思います」と付け加えます。

入居期間の制限はなく、マイペースでゆっくりトレーニングしながら住み続けてもよいし、期間を区切ってリハビリの効果を確認めるような使い方も可能。短期入居は1カ月から相談に応じてもらえるそうで、相談員の滝澤章太さんは、「訓練と並行して自宅のバリアフリーリフォームを

アンコール葉山 入居者募集中

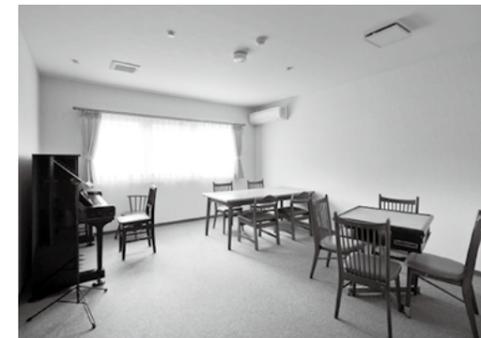
所在地/葉山町長柄

交通/ JR 横須賀線・逗子駅、または京急線・新逗子駅～バス5分～徒歩2分
 構造・階数/ RC造3階建て
 総戸数(専用面積)/ 24戸(28.42㎡～45㎡)
 住戸(専用部分)の設備/
 洗面、トイレ、ミニキッチン、浴室、収納
 共同利用設備/居間(ラウンジ談話室)2、防音室、ゲストルーム
 家賃/約110,000円～170,000円 共益費/約20,000円～40,000円
 提供サービス/■状況把握・生活相談(月額約40,000円)、
 ■その他のサービス

問い合わせ/アンコールサワベ ☎ 046-875-5917



現在、葉山町で唯一のサ付き住宅として、小規模多機能型居宅介護事業所、訪れてまず目に入るのが、無農薬野菜などを提供する1階のレストランで、定期的な合唱や演奏会が開かれています。



こちらの防音室も、サ付き住宅で設置されるのは珍しいケース



1階のエントランス部分は、畳スペースも一体化した開放的で広々とした空間で、イベントホールと位置づけられています

行い、仮住まいとして活用することもできるのではないのでしょうか」と提案しています。

リハビリふくや高津館はまた、クリニックや弁当店などが入居する複合ビル。国土交通省が今年3月末の時点でまとめた「サービス付き高齢者向け住宅の現状と分析」によると、併設施設を1つ以上有する物件は全体の8割近くに上り、介護や医療など入居者へのサービス提供にとどまらず地域福祉の向上に寄与する複合型のサ付き住宅は、今後ますます増えていくものと思われます。

地域に開かれた福祉・交流拠点目指す

葉山町で第1号となるサ付き住宅としてお目見えした「アンコール葉山」も、そうした複合型の物件。これまた町内初の小規模多機能型居宅介護事業所を併設し、1年ほど前にオープンしました。

「ここは亡き父が、50年余りスカーフ染めの工場を営んできた場所。廃業後の跡地を地域のために有効活用したいと考えていたことを知って、福祉拠点を担える施設をつくることを思い立ちました」と話すのは、運営会社のアンコールサワベ代表取締役・相川かをりさんです。

相川さんは東京の音楽大学を卒業後、中学校の音楽教諭を経て、県立職業技術校に学び介護・福祉の道へ転身を図った経歴の持ち主。双方の知識を生かして特別養護老人ホームで音楽療法に携わったこともあるそうで、代表自ら

が先頭に立ってムードメーカーになり、居住者や地域住民との交流に力を入れている点が、こちらのサ付き住宅の大きな特色となっています。

例えば、1階に併設されたレストランにはグランドピアノが2台備えられ、毎週火曜日の午後、サ付き住宅居住者、小規模多機能型居宅介護サービスの利用者と近隣住民が集い、お茶をしながら懐かしい愛唱歌を口ずさむ「歌の会」（会費制）が定例化。近所の人による手話歌の講習も行われ、口コミで参加者の輪は広がっているようです。

ステージドレスをまもって伴奏兼進行役を務める相川さんは雰囲気十分、和やかな時間がゆっくりと流れていきます。レストランでは音楽家仲間を招いてのコンサートなども定期的に催され、好評を博しているといえます。

さらに1階には、レストランのほかイベントホールや畳スペース、ピアノ練習・カラオケ・麻雀などに使える防音ルームを整備して、自主企画や居住者の利用はもちろん、地域住民への貸し出しにも応じています。また、戸建て住宅が立ち並ぶエリアにあってRC造3階建ての堅ろうな建物はほかに見当たらないことから、「万一、津波や洪水が発生した場合、屋上を一時的な避難所として提供したい」（相川さん）とも。

住み慣れた地で暮らし続けたいと願う人々と手を携え、豊かなコミュニティの場をはぐくんでいきたい。そんな郷土愛に満ちた事業者の思いが、はっきりと伝わってくるサ付き住宅でありました。

リハビリふくや高津館 入居者募集中

所在地/川崎市高津区宇奈根

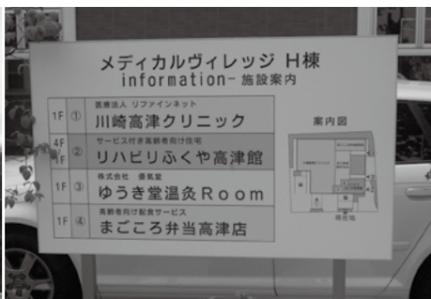
交通/ JR 南武線・久地駅～徒歩13分
 構造・階数/ 鉄骨造4階建て
 総戸数(専用面積)/ 27戸(25.07㎡～40.69㎡)
 住戸(専用部分)の設備/
 洗面、トイレ、ミニキッチン、浴室、収納
 家賃/約70,000円～100,000円 共益費/約34,200円
 提供サービス/■状況把握・生活相談(月額約25,800円)
 問い合わせ/リハビリふくや高津館 ☎ 044-850-8298



在宅生活で生じる不都合などを想定できるよう、各住戸の浴室の出入り口はあえてフラットにせず、スロープの仕様になっています



サ付き住宅では初めての起用になるという自立動作支援「ロボットスーツ HAL (R) 福祉用」



建物外観⑤と、複合施設であることを示す案内表示⑥

ユーミーリビング湘南台

所在地／藤沢市湘南台

現在、空きは
ありません

交通／小田急、相鉄、横浜市営地下鉄ブルーライン・湘南台駅～バス2分～徒歩13分
 構造・階数／RC造2階建て
 総戸数（専用面積）／12戸（25.2㎡～25.5㎡）
 住戸（専用部分）の設備／洗面、トイレ、ミニキッチン、収納
 共同利用設備／浴室2、洗面洗濯室2、食堂、居間（アトリエ）
 家賃／約134,000円 共益費／約28,000円
 提供サービス／■状況把握・生活相談（月額約12,000円）、
 ■食事提供、■入浴等の介護、
 ■掃除等の家事支援、■その他のサービス
 お問い合わせ／ユーミーケア ☎0466-52-0210



女性陣はいくつになっても、箸が転んでもおかしい、ようです＝2階の食堂で、手づくりおやつ「クリームあんみつ」を召し上がりながら談笑する居住者の皆さん

南側の道路から見た外観。周囲の道路から見た外観。周囲の道路から見た外観。



女性の感性失わず麗しく いたわり合って和やかに

一方、藤沢市内には、「女性専用」をうたうユニークなサ付き住宅が存在します。湘南エリアで高齢者のための住まいづくりを進めるユーミーケア（本社・藤沢市藤沢）の「ユーミーリビング湘南台」がそれ。オープンしてから既に10年近く。そもそも高齢者専用賃貸住宅として建てられ、サ付き住宅に移行登録されたものです。

当初は、男性の入居者も受け入れていたそうですが、時が刻まれる中、自然な流れで女性の比率が高くなっていき、ついには男性が0人に。実態に合わせる形で、4年ほど前から「女性専用」という位置付けを公にするようになったといいます。

総戸数は12で併設施設はなく、アットホームな雰囲気大切にサ付き住宅。入居者の皆さんの暮らしぶりを拝見しにうかがったところ、この日は週に1度のコーラスと手作りおやつ交流day。張りのある歌声に、一昨年から始めたというハンドベルの演奏も、ぴったり息が合ってお上手でした。その後のティータイムのクリームあんみつづくりで、フルーツやカンテン、白玉などを取り分けながら談笑する光景からも、仲良くいたわり合って暮らしていることがよく分かりました。

このように、コミュニケーションを図るためのイベントがいろいろと企画されているほか、こちらのサ付き住宅では巡回車による通院や買い物の送迎サービスが行われ、連れ立って外出する機会も多いようです。

そんな皆さんに「女性専用」についての感想を尋ねると、「安心感がある」「こじんまりとしているのでまとまりやすい」といった声が挙がり、互いに顔を見合わせてうなずいておられました。また、「コンシェルジュ」と呼ばれるスタッフのリーダー、内野久美子さんによれば「食事提供や家事援助などのサービスを通じて、私たちも居住者さんから先人の知恵を授かったり、手解きを受けたり。母と娘のような関係性を大事にしながら、楽しい日々を過ごしています」

元気いっぱいのお母さんたちだそうで、聞けば、平均年齢はなんと89歳。何人かの方に部屋を見せていただくことができましたが、趣味の工芸品や絵を飾ったり、ベランダには手入れの行き届いたプランターの花。そうやって、皆さん女性ならではの感性を失わず、生活に彩りを添える努力をなさっていることが長寿の秘けつなのだろうと実感しました。



高齢化が急速に進む中、国や自治体の後押しを得て、その数を増やしつつあるサービス付き高齢者向け住宅。老後の安心や生きがいのある暮らしに対するニーズの多様化に伴い、その受け皿として、今後もさまざまな特色づくりが進められていくことでしょう。また、オープンしてから入居者がある程度定着するにつれて、それぞれのコミュニティらしさも備わってくるということで、これから成熟期を迎える数多くの物件で、人々の生き生きと喜びに満ちた生活が繰り広げられることを期待したいと思います。

サービス付き高齢者向け住宅最新事情
特色づくりも活発化



県内のサ付き住宅の現状と傾向

188棟 7,193戸
2014年6月30日時点

1) 1棟当たりの戸数規模

総戸数	件数	割合	全国統計
10戸未満	11	5.9%	5.7%
10戸以上20戸未満	24	12.8%	21.7%
20戸以上30戸未満	41	21.8%	24.8%
30戸以上40戸未満	29	15.4%	19.5%
40戸以上50戸未満	28	14.9%	11.1%
50戸以上60戸未満	20	10.6%	7.9%
60戸以上70戸未満	15	8.0%	4.0%
70戸以上80戸未満	11	5.9%	2.1%
80戸以上90戸未満	4	2.1%	1.2%
90戸以上100戸未満	4	2.1%	0.9%
100戸以上	1	0.5%	1.2%

神奈川県内にあるサ付き住宅（建築中も含む）は、「20戸以上30戸未満（21.8%）」「30戸以上40戸未満（15.4%）」「40戸以上50戸未満（14.9%）」の建物が多く、全体の約7割が総戸数50戸未満。

国土交通省がまとめた全国統計（2014年3月末時点）と比べると、神奈川のサ付き住宅は40～70戸程度で建てられる率が若干、高い傾向にあるようです。

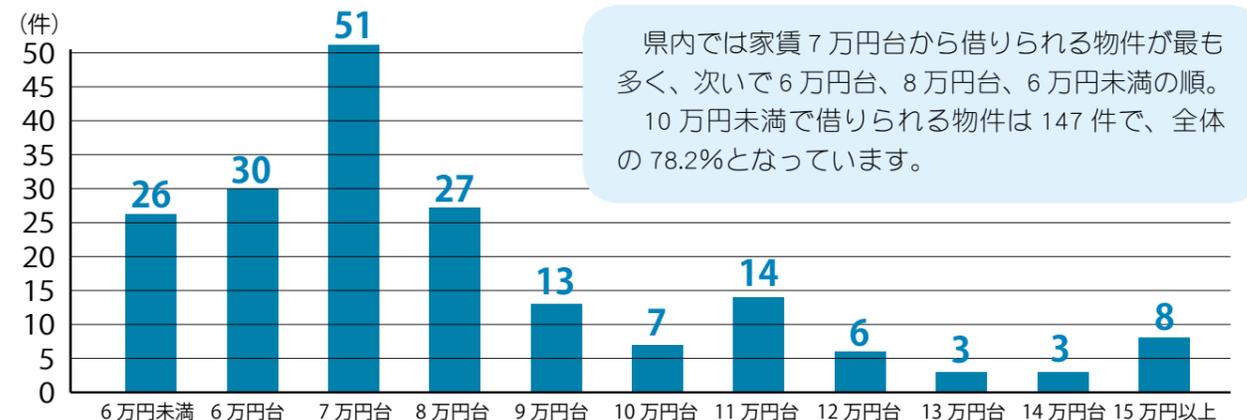
2) 提供されるサービス（状況把握・生活相談以外）

区分	件数	割合	全国統計
食事の提供	163	87.2%	94.7%
入浴等の介護	72	38.5%	47.3%
調理等の家事	85	45.5%	50.4%
健康の維持増進	102	54.5%	59.5%
その他のサービス	107	57.2%	データなし

県内のサ付き住宅で必須以外のサービスを提供している割合は、いずれの項目も全国平均を下回っていますが、提供の多いサービスの並びは変わりありません。

また、必須の状況把握・生活相談サービスのみを提供する物件は21件（県内全体の11.2%、全国平均は3.7%）、反対に、その他サービス以外の項目をすべて提供している物件は53件（28.2%）あります。

3) 月額家賃の下限設定



県内では家賃7万円台から借りられる物件が最も多く、次いで6万円台、8万円台、6万円未満の順。10万円未満で借りられる物件は147件で、全体の78.2%となっています。

Topics

精力的にPRを展開

「木材利用ポイント事業」- まち協が地元メディアと連携
 神奈川県産材や国産材等の地域材を使用して家を建てたり、リフォームを行うとポイントがもらえる「木材利用ポイント事業」。内装材や外装材に木材を利用することは住環境に温もりや心地よさをもたらすだけではありません。適切に管理された山林から供給される木材を利用することは、持続的な森林資源の保全に寄与するとともに、植林から伐採まで計画的に行われる循環は、木材の内部にCO2を封じ込め大気中への拡散を防ぎ、地球環境の保護にも一定の役割を果たすとされています。

このような視点から、まち協では4月から6月にかけて、神奈川新聞社やTVKテレビと連携して、イベントなどを通じ木材利用ポイント事業の普及を行いましたのでご報告します。

その木、どこの木?

木材利用ポイント実施中

◆全47都道府県縦断シンポジウム

森林の現状を知り、木材の利用と消費拡大に向け「木で、未来をつくろう！ in 神奈川県」と銘打ち4月26日、横浜市中区のかながわ労働プラザでシンポジウムが開催されました。第1部の講演では、まず、林野庁木材利用課木材利用ポイント推進室の五十嵐麻衣子課長補佐が「地域材

の活用促進に向けて」をテーマに、国の木づかい施策として、木材需要を喚起し農山漁村における地域経済へ波及効果を及ぼすために木材利用ポイント事業を実施していると説明。また東京大学の有馬孝禮名誉教授が「消費県における地域材の活用」として、木材を使うことが生産を生むという観点から、次の世代に向けた資源循環型社会構築へ木材利用が駆動力になるとの考えを示しました。

第2部では、講演者の2人に加え、青木工務店の青木哲也代表取締役と一般社団法人木と住まい研究協会の宮代博幸事務局長などがパネラーとして登壇し、神奈川県における地域材利用の現状と未来についてのパネルディスカッションが行われました。現在、国内の木材自給率が上昇し、価格も安定傾向にあるなか、地域材の生産者から流通業者を経て地域の工務店まで、いわゆる川上から川下までといわれる流通経路に、さらに消費者も一体となった木材利用のサイクルを構築し、地域材のブランド化を積極的に推進することで、地域経済の活性化に取り組むことが重要であることなどが話し合われました。

◆家づくりフェア

「環境にいい暮らしについて考えているが、どこに相談していいかわからない」「子どもがアトピーらしい。建築素材について、詳しいことが知りたい」「水周りや光熱費が気になる。この際だから、もっと効率いい設備に変えたい」「住宅ローンについて相談



したい」など、さまざまな疑問に対応すべく、地元工務店や設置業者がブースを連ね、来場者一人ひとりの疑問・質問に答えることを主旨として、5月31日、横浜産貿ホール・マリネリアで、家づくりフェアが神奈川新聞社、かながわ木づかい協議会との共催で開催されました。まち協も、木材利用ポイント普及のためのブースに出展し、パネル展示や地域材を活用した家具の展示などを行いました。

◆2014秋じゃないけど収穫祭



「神奈川の地産地消」を応援する目的でスタートした tv k主催の「収穫祭」が5月31日、6月1日、横浜市中区の日本大通りから象の鼻パーク一帯で開催されました。開催日は2日間とも今年一番の暑さの中、神奈川県産の野菜や海の幸などの食材・加工品をはじめ、それらを使った料理や環境に配慮した雑貨などの販売、環境関連企業・NPO団体のPR、親子連れで楽しめるワークショップなど、およそ100のブースが出展。まち協は、木材利用ポイント普及のためのブースでパネル展示や地域材を活用した家具の展示を行いました。県森林再生課から提供を受けた杉のチップによる積み木体験コーナーでは、子供だけではなく大人もオブジェづくりに熱中し、多くの来場者が地域材に直接触れる機会となりました。

◆その木、どこの木?木材利用ポイント

横浜西区のTVKハウジング・プラザ横浜のヨコハマ暮らし館において、6月8日に開催されたイベントでは、

神奈川県産材を使用した木材製品・パネル展示、木のジャングルジム体験コーナーとともに、木材利用ポイント相談コーナーを出展。小雨が降ったり止んだりの梅雨空の中、ポイント申請を検討している消費者の相談に応じました。



まち協・事務局だより

◆「健康団地」テーマにフォーラム開催

まち協では、神奈川県と共同で、少子高齢化や空き家の発生等により、活力の低下が懸念される団地について、コミュニティづくりや住民による主体的な取り組みなどを話し合う「健康団地」再生フォーラムを横須賀と横浜で開催します。入場無料。定員は各200人。

《第1回「健康団地」再生フォーラム in 横須賀》

【開催日時】2014年7月29日(火) 14:00～17:00
 【会場】ヴェルクよこすか(労働福祉会館)

《第2回「健康団地」再生フォーラム in 横浜》

【開催日時】2014年11月17日(月) 14:00～17:00
 【会場】横浜開港記念会館

内容は、横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授の大原一興さんをコーディネーターに据え、基調講演とパネルディスカッションの2部構成。討論会では、超高齢社会における居住環境や、高齢者が安心して住み続けられる団地再生のあり方について、居住者、行政、学識者、支援団体などの多彩なパネリストをお迎えし意見交換していただきます。団地の建築設計や住宅リフォームに携わる建築士会の会員の皆様にも興味のある内容になっていますので、ふるってご参加ください。

申し込み・問い合わせは、まち協事務局 ☎045(664)6896へ。

◆定時社員総会を6月に行いました

公益社団法人かながわ住まいまちづくり協会の平成26年度定時社員総会が、2014年6月17日、横浜市中区の波止場会館で行われました。この日承認された平成25年度の事業報告や決算書は、ホームページで情報公開しています。

住宅かしの保険 豆知識

共同住宅の大規模修繕を安心して行うために

平成20年の「住宅・土地統計調査」(総務省)によると、神奈川県内には200万戸の共同住宅がありますが、この中には築年数が長くリフォームや修繕が検討されているものも多いと思われます。

共用部分を対象とする大規模修繕工事は、賃貸の共同住宅では建物所有者が、また、分譲マンション等区分所有の共同住宅では管理組合が工事を発注することとなります。

分譲マンションでは、長期修繕計画にのっとり修繕積立金を計画的に積み立てているケースが多いと思われるのですが、多額の費用が見込まれる修繕工事は一般の方はほとんど経験していないことから、いざ実施すると、「どの事業者がお願いしたらよいのか?」「手抜き工事をされないか?」「何か工事に問題があったらちゃんと保証してくれるのか?」などの不安を持たれることも多いのではないのでしょうか。

そこで用意されたのが、共同住宅大規模修繕工事瑕疵(かし)担保責任保険です。この保険は検査と保証がセットとなった保険で、保険に加入した工事事業者が行った大規模修繕工事で欠陥が見つかった場合には、無料で補修が受けられるものです。

私も神奈川県建築安全協会では、住宅保証機構(株)の「まもりすまい大規模修繕かし保険」を取り扱っていますので、この保険について概要を紹介いたします。

この保険を利用するには、まず工事業者に事業者登録していただきますが、継続して保険を利用する場合には1年ごとに更新

手続きが必要です。現在、登録している事業者については、住宅保証機構のホームページで閲覧できますので、ご確認ください。

大規模修繕工事がし保険の対象となる住宅は、4階建て以上または500㎡以上の分譲共同住宅または賃貸共同住宅で、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造もしくは鉄骨造の建物。構造耐力上主要な部分を工事する場合には、新耐震基準に適合していること、または適合させる耐震改修工事を行うことが要件となっています。

この保険は、登録事業者が申し込みを行い、保険対象となる大規模修繕工事を実施した個所について、私どもの建築士の資格を持つ検査員が設計施工基準に基づき2回以上の現場検査を実施し、施工状況を確認します。

工事完了後、保険期間内にその工事に瑕疵(欠陥)が見つかった場合、その補修費用等の一部が保険で登録業者に支払われるため、発注者様(管理組合等)は無料で補修が受けられます。また、万が一、登録事業者が倒産等により補修等を行うことができない場合には、管理組合等の発注者様に直接、補修費用等の保険金が支払われます。

このように管理組合等の発注者様が安心して大規模修繕工事を発注でき、工事業者にとっても発注者様の一層の信頼を獲得するために、ぜひ「まもりすまい大規模修繕かし保険」をご利用いただけるようお勧めします。

(一般財団法人神奈川建築安全協会住宅部・塚田操六)

住まいとまちづくり VOL.23

2014年7月20日発行【季刊】

発行/公益社団法人かながわ住まいまちづくり協会

〒231-0011 横浜市中区太田町2-22 神奈川県建設会館4階

☎045-664-6896 FAX 045-664-9359

http://www.machikyo.or.jp/

E-mail admin@machikyo.or.jp

発行人/寶積 泰之

編集責任者/鈴木 富男

JR根岸線 関内駅北口、南口から徒歩5分
 横浜市営地下鉄・関内駅1番、3番出口から徒歩5分
 みなとみらい線・日本大通り駅1番出口から徒歩5分
 みなとみらい線・馬車道駅7番出口から徒歩10分
 横浜メディア・ビジネスセンター隣

住宅地探訪

あの街は今…

「かながわのまちなみ100選」
選定から4半世紀

魅力ある住宅地を維持するには、何が必要なのでしょう。県内の緑豊かな住宅街や雰囲気の良い商店街のたたずまいを記録した「かながわのまちなみ100選」が発行されたのが1987年。4半世紀が経った今もなお、魅力ある住宅地に隠されたヒントを見つけに、カメラ片手にルポして回ります。

其の五 伊勢原・渋田川沿い

伊勢原市南東部の田園地帯を流れる渋田川には、春になると川堤の桜並木に加え、住民の皆さんが丹精を込めて育てている芝桜が見事に咲き誇るエリアがあります。また、川沿いの遊歩道に面した民家の生け垣も手入れが行き届き、住まいと川のせせらぎ、樹木・草花の調和した景観が、「まちなみ100選」に選ばれました。



小田急線・伊勢原駅

文

小田原厚木道路

605

44



22

605

西川橋

渋田川

大田橋

文伊勢原市立
大田小学校

44

下谷



満開のころの芝桜の絨毯
写真提供…伊勢原市
商工観光振興課

まち巡りで感じた

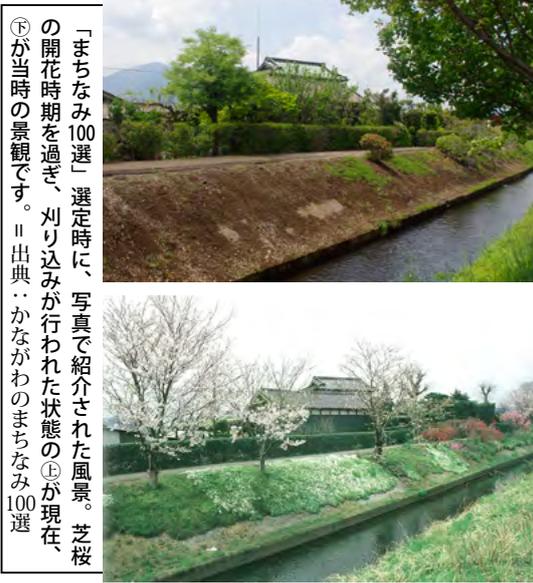
【魅力的な住宅地を維持するキーワード】

住民の善意による環境美化

観光名所に成長、継承へ

- 渋田川沿いの芝桜は、1970年ごろ、住民の一人がささやかな環境づくりの願いから、一株の花苗を土手に植えたのが始まり。花咲かせ活動は近隣住民にも受け入れられて脈々と続き、1997年には「上谷芝桜愛好会」が発足。さらに市民有志が「芝桜応援隊」を結成し、川の清掃などに取り組むようになりました。
- こうした人々の努力により、今では芝桜の絨毯は広範囲にわたって川堤を埋め尽くすまでに。花の名所として知名度が高まる中、シャトルバスを運行したり臨時駐車場を確保するなど“祭り”のスタイルが整えられ、4万人超の見物客が訪れる市内有数の観光スポットの一つに数えられています。

川土手の維持保全に取り組みボランティア。芝桜を一面に咲かせるには結構手間をかける必要がある、根が張って密集するようになるまでは、こまめに雑草を取り除く作業が欠かせないといえます。
写真提供…伊勢原市商工観光振興課



「まちなみ100選」選定時に、写真で紹介された風景。芝桜の開花時期を過ぎ、刈り込みが行われた状態の①が現在、②が当時の景観です。出典…かながわのまちなみ100選



川の分流地点の辺りは視界が開け、のどかな田園風景の中に浮かび上がる大山の勇姿を目にすることができます。



川沿いの遊歩道では、垣根越しに風格のある和風住宅が姿を覗かせ、まち歩きの楽しみも倍増

